We create chemistry

安全データシート

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 19.06.2025　　バージョン: 7.2
製品: **Naria WDG / ナリアWDG**

(30267957/SDS_CPA_JP/JA)
印刷日: 19.06.2025

1. 化学品及び会社情報

品名:
Naria WDG
ナリアWDG

用途: 農薬製品, 殺菌剤

供給者の会社情報、住所及び電話番号:
BASFジャパン株式会社
東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号
OVOL 日本橋ビル 3階
電話番号: +81-3-5290-3000
FAX番号: +81-3-5290-3333

緊急連絡先:
電話番号: 03-6634-2245
+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のＧＨＳ分類】:
急性毒性: 区分4 (経口)
生殖毒性: 区分2 (胎児)
水生環境有害性　短期(急性): 区分1
水生環境有害性　長期(慢性): 区分1

【ＧＨＳラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:
警告

危険有害性情報:

H302	飲み込むと有害。
H361	胎児への悪影響のおそれの疑い。
H400	水生生物に非常に強い毒性。
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き:

P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。
P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P103	使用前にラベルをよく読むこと。

注意書き（安全対策）:

P280	保護手袋と保護衣と保護眼鏡または保護面を着用すること。
P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱い後は汚染された体の部分をよく洗うこと。

注意書き（応急措置）:

P301 + P312	飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
P330	口をすすぐこと。
P391	漏出物を回収すること。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

注意書き（保管）:

P405	施錠して保管すること。

注意書き（廃棄）:

P501	適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

ＧＨＳ分類に関係しない又は ＧＨＳで扱われない他の危険有害性:
この製品は、PBT(persistent(残留性)/bioaccumulative(生物蓄積性)/toxic(毒性))及びvPvB(very persistent(極難分解性)/very bioaccumulative(極高蓄積性))の基準に該当しない。

アレルギー反応を起こすことがある。 含有：
ホルムアルデヒド

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

農薬製品, 殺菌剤

ＧＨＳ分類に寄与する成分

2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド（別名：ボスカリド）
含有量 (W/W): 13.61 %
CAS番号: 188425-85-6
水生環境有害性　短期(急性): 区分 2
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 2

ピラクロストロビン
含有量 (W/W): 6.8 %
CAS番号: 175013-18-0
急性毒性: 区分 3 (吸入－ミスト)
急性毒性: 区分 4 (経口)
皮膚腐食性／刺激性: 区分 2
生殖毒性.: 区分 2 (胎児)
特定標的臓器毒性（単回暴露）: 区分 3 (呼吸器系を刺激する)
特定標的臓器毒性（反復暴露） (肝臓, 鼻腔, 消化管): 区分 2
水生環境有害性　短期(急性): 区分 1
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 1
M-ファクター急性: 100
M-ファクター慢性: 100

硫酸アンモニウム
含有量 (W/W): < 15 %
CAS番号: 7783-20-2
化審法: (1)-400
労働安全衛生法: (1)-400
急性毒性: 区分 5 (経口)
水生環境有害性　短期(急性): 区分 3

Naphthalenesulfonic acids, branched and linear Bu derivs., sodium salts
含有量 (W/W): < 5 %
CAS番号: 91078-64-7
急性毒性: 区分 4 (吸入 - 粉塵)
急性毒性: 区分 4 (経口)
急性毒性: 区分 5 (経皮)
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 1
水生環境有害性　短期(急性): 区分 3
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 3

2-Naphthalenesulfonic acid, sodium salt

含有量 (W/W): < 3 %
CAS番号: 532-02-5
化審法: (4)-466
労働安全衛生法: (4)-466

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 2A

1,7-Naphthalenedisulfonic acid, disodium salt

含有量 (W/W): < 3 %
CAS番号: 1655-31-8
化審法: (4)-468
労働安全衛生法: (4)-468

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 2A

1,6-Naphthalenedisulfonic acid, disodium salt

含有量 (W/W): < 3 %
CAS番号: 1655-43-2
化審法: (4)-468
労働安全衛生法: (4)-468

皮膚腐食性／刺激性: 区分 2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 2A
特定標的臓器毒性（単回暴露）: 区分 3 (呼吸器系を刺激する)

ホルムアルデヒド

含有量 (W/W): < 0.05 %
CAS番号: 50-00-0
化審法: (2)-482
労働安全衛生法: (2)-482

引火性液体: 区分 4
急性毒性: 区分 2 (吸入-蒸気)
急性毒性: 区分 3 (経口)
急性毒性: 区分 3 (経皮)
皮膚腐食性/刺激性: 区分 1B
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 1
皮膚感作性: 区分 1A
発がん性: 区分 1B
水生環境有害性　短期(急性): 区分 2

リグニンスルホン酸ナトリウム

含有量 (W/W): < 25 %
CAS番号: 8061-51-6
化審法: (8)-209
労働安全衛生法: (8)-209

硫酸ナトリウム

含有量 (W/W): < 10 %
CAS番号: 7757-82-6
化審法: (1)-501
労働安全衛生法: (1)-501

非晶質シリカ

含有量 (W/W): < 10 %
CAS番号: 7631-86-9

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:
汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:
安静にし、新鮮な空気の場所に移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:
石鹸と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:
直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:
直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者の診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:
症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。, (他の)症状や影響については現時点で知られていない。
危険有害事項: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。
処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:
粉末, 泡, 噴霧水

[使ってはならない消火剤]:
二酸化炭素

[火災時の特有の危険有害性]:
一酸化炭素, 塩化水素, アンモニア, 二酸化炭素, 窒素酸化物, 硫黄酸化物, ハロゲン化合物, シリカ化合物
火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:
自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用のこと。

[追加情報]:
火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。 火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。 汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。 汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:
保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。粉塵を発生させない。

[環境に対する注意事項]:
土壌中に放出しないこと。排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:
小量の場合: 粉塵結合剤で回収し、廃棄すること。
大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。
粉塵を発生させないこと。法令に従って吸着剤を廃棄すること。廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。 水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

作業場の換気を十分に行う。 適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。 使用時には飲食または喫煙をしないこと。 休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。

安全取扱注意事項:
粉塵を発生させない。 粉塵は空気と混合して爆発性混合物を形成する可能性がある。 静電気防止対策をとる。発火源を近づけない。消火器常備のこと。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。
保管条件に関する追加情報: 湿気を避ける。 熱から離して保管すること。 直射日光を避ける。

保管安定性:
保管期間: 60 月

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

ピラクロストロビン, 175013-18-0;

TWA（time weighted average：時間加重平均） 0.13 mg/m3 (BASF recomm. occupational exposure limit)

ボスカリド, 188425-85-6;
TWA（time weighted average：時間加重平均） 0.248 mg/m3 (BASF recomm. occupational exposure limit)

非晶質シリカ, 7631-86-9;
TLV（threshold limit value：管理濃度） 0.025 mg/m3 (労働安全衛生法（JP)), 粉塵
暴露限界は、100%遊離シリカの値を用いて方程式3.0/[1.19*(% 遊離シリカ)+1]から計算される。
TWA（time weighted average：時間加重平均） 10 mg/m3 (ACGIHTLV), 吸入可能粒子
TWA（time weighted average：時間加重平均） 3 mg/m3 (ACGIHTLV), 吸入性粒子

【保護具】

[呼吸用保護具]:
高濃度に対して、または長時間有効な適切な呼吸保護具： 固体および液体微粒子に対して中性能粒子フィルター（例：EN 143または149、タイプP2またはFFP2）

[手の保護具]:
長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋（EN ISO 374-1）（保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること）：ニトリルゴム（0.4 mm）、クロロプレンゴム（0.5 mm）、ブチルゴム（0.7 mm）など。

[眼の保護具]:
サイドシールド付き安全眼鏡(フレームゴーグル)（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:
作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:
最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。 作業服は、他の物と分けて保管すること。 食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	自由流動性微細粒子
色:	褐色
臭い:	特異臭, わずかに臭う
臭いのしきい値:	吸入による健康障害の可能性のために決められていない。

pH:	約 4 - 6 (1 %(m), 22 ° C) （懸濁液として）	
融点範囲:	約 63.7 - 65.2 ° C 与えられたデータは、活性成分の値である。	
沸点:	製品は未試験である。	
引火点:	該当しない、製品は固体である。	
蒸発率:	適用せず	
可燃性 (固体/ガス):	可燃性低い。	
爆発下限界:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。	
爆発上限界:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。	
自然発火温度:	該当しない、製品は固体である。	
熱分解:	通常の取扱い条件下で危険分解物なし。	
自己発火性:	温度: 246 ° C	(測定方法: EU指令 92/69/EEC, A.16)
自己発熱性:	自己発熱性物質ではない。	
爆発危険有害事項:	爆発性なし。	(EU指令 92/69/EEC, A.14)
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。	(EU指令 92/69/EEC, A.17)
蒸気圧:	製品は未試験である。	
嵩密度:	約 730 kg/m3 (22 ° C)	
相対ガス密度（空気）:	適用せず, この製品は、不揮発性固体である。	

水に対する溶解性: 分散可能
n - オクタノール/水分配係数（log Pow）:
混合物には適用されない

粘度:
該当しない、製品は固体である。
動粘性率:
該当しない、製品は固体である。

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:
製品安全データシートの第７項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

[混触危険物質]:
強酸，強塩基，強酸化剤

[危険有害な分解生成物]:
指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:
通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

化学安定性:
製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:
指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:
LD50（半数致死量）ラット (経口):＞ 500 - ＜ 2,000 mg/kg (OECDテストガイドライン 423)

急性吸入毒性

LC50（半数致死濃度） ラット (吸入による):＞ 5.6 mg/l 4 h
本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。 エアゾールで試験した。

急性皮膚毒性

LD50（半数致死量） ラット (経皮): > 2,000 mg/kg (OECDテストガイドライン402)
死亡なし

急性毒性の評価

単回摂取後、中程度の毒性を示す。 吸入による毒性は実質上なし。 単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。

症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。 (他の)症状や影響については現時点で知られていない。

刺激性

刺激性作用の評価:
眼及び皮膚に対して刺激性なし。

実験または計算によるデータ:
皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン404)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:
感作性なし

実験または計算によるデータ:
改定Buehler試験 モルモット: 感作性なし (OECDテストガイドライン406)

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:
変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

発がん性

発がん性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド（別名：ボスカリド）
発がん性の評価:
ラットを用いた長期の実験において、この物質は甲状腺腫瘍を誘発した。 この結果は、人に対応しない動物特有のメカニズムによるものである。 この物質を餌によって与えたマウスの長期の試験において、発癌性は、観察されなかった。

記載物質に関する情報： ホルムアルデヒド
発がん性の評価:

ラットでは鼻上皮に重度な障害をもたらすような濃度への生涯を通じた吸入曝露によって鼻の腫瘍が誘発された。しかし、他の動物ではそのような所見は認められなかったか、あるいはラットに比べて頻度が相当に低かった。 国際癌研究機関（IARC）は、鼻咽腔癌と白血病の発生に対するホルムアルデヒド曝露に関連する疫学的証拠に基づき、ホルムアルデヒドをグループ１（既知）ヒト発癌性物質として分類している。 使用される保護具及び職場の保健衛生措置が推奨レベルのものであれば、健康への悪影響はないと思われる。

生殖毒性

生殖毒性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。 動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。

発生毒性

催奇形性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： ピラクロストロビン
催奇形性の評価:
動物実験では、発生毒性/催奇形性の兆候が認められた。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用できる情報に基づくと、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： ピラクロストロビン
反復投与毒性の評価:
反復暴露により、特定の臓器に影響する可能性がある。 標的臓器：肝臓、胃腸管及び鼻腔

記載物質に関する情報： ホルムアルデヒド
反復投与毒性の評価:
反復投与後にみられる顕著な影響は局所の刺激である。

記載物質に関する情報： 非晶質シリカ
反復投与毒性の評価:
肺胞に到達する粒子/埃を繰り返し吸入摂取すると、肺に損傷を起こす可能性がある。

誤えん有害性

適用せず

その他該当する毒性情報

誤用により、健康を損なうおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド（別名：ボスカリド）
魚類に対する毒性:
LC50（半数致死濃度） (96 h) 約 2.7 mg/l, ニジマス（学名：Oncorhynchus mykiss）

記載物質に関する情報： ピラクロストロビン
魚類に対する毒性:
LC50（半数致死濃度） (96 h) 0.00616 mg/l, ニジマス（学名：Oncorhynchus mykiss） (EPA 72-1, 流水式)

記載物質に関する情報： 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド（別名：ボスカリド）
水生無脊椎動物:
EC50 (48 h) 5.33 mg/l, オオミジンコ（学名：Daphnia magna） (OECDテストガイドライン 202-1)

記載物質に関する情報： ピラクロストロビン
水生無脊椎動物:
EC50 (48 h) 0.0157 mg/l, オオミジンコ（学名：Daphnia magna） (OECDテストガイドライン 202-1, 止水式)

EC50 (96 h) 0.00416 mg/l, Americamysis bahia

記載物質に関する情報： 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド（別名：ボスカリド）
水生植物:
EC50 (96 h) 2.61 mg/l (成長率), 緑藻（学名：Pseudokirchneriella subcapit (OECDテストガイドライン 201)

EC10（10%影響濃度） (72 h) 1.19 mg/l (成長率), 緑藻（学名：Pseudokirchneriella subcapit (OECDテストガイドライン 201)

記載物質に関する情報： ピラクロストロビン
水生植物:
EC10（10%影響濃度） (7 日) 0.82 mg/l (成長率), Lemna gibba

EC50 (7 日) > 1.007 mg/l (成長率), Lemna gibba

EC50 (72 h) 0.011 mg/l (成長率), Navicula pelliculosa

記載物質に関する情報： 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド（別名：ボスカリド）
魚類に対する慢性毒性:
無影響濃度 (97 日) 0.116 mg/l, ニジマス（学名：Oncorhynchus mykiss）

記載物質に関する情報： ピラクロストロビン
魚類に対する慢性毒性:
無影響濃度 (98 日) 約 0.00235 mg/l, ニジマス（学名：Oncorhynchus mykiss） (OECDテストガイドライン 210, 流水式)

記載物質に関する情報： 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド（別名：ボスカリド）
水生無脊椎動物に対する慢性毒性:
無影響濃度 (21 日), 0.8 mg/l, オオミジンコ（学名：Daphnia magna）

記載物質に関する情報： ピラクロストロビン
水生無脊椎動物に対する慢性毒性:
無影響濃度 (21 日), 0.004 mg/l, オオミジンコ（学名：Daphnia magna） (OECDテストガイドライン 202-2, 半止水式)
毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。

無影響濃度 (31 日), 0.000365 mg/l, ミシッドシュリンプ（学名：Mysidopsis bah

移動性

環境区分間の輸送評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド（別名：ボスカリド）
環境区分間の輸送評価:
土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

記載物質に関する情報： ピラクロストロビン
環境区分間の輸送評価:
土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価（水中環境）:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド（別名：ボスカリド）
生分解性及び除去率の評価（水中環境）:
容易に生分解性されない（OECD基準による）

記載物質に関する情報： ピラクロストロビン

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド（別名：ボスカリド）
生体蓄積性:
生物濃縮係数: 57 - 70 (28 日), ニジマス（学名：Oncorhynchus mykiss）
生物体内に蓄積しない。

記載物質に関する情報： ピラクロストロビン
生体蓄積性:
生物濃縮係数: 379 - 507, ニジマス（学名：Oncorhynchus mykiss） (OECD-Guideline 305)
生体蓄積性はないと考えられる。

[追加情報]

その他の環境毒性情報:
前処理なしに河川等に流してはならない。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:
使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:
国連番号もしくはID番号: UN 3077
品名（国連輸送名）: 環境有害性物質(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)

（ボスカリド, ピラクロストロビン）

国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	9, EHSM
容器等級:	III
環境有害性:	該当
使用者への特別注意事項:	知見なし

海上輸送 IMDG		**Sea transport** IMDG	
国連番号もしくはID番号:	UN 3077	UN number or ID number:	UN 3077
品名（国連輸送名）:	環境有害性物質(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)（ボスカリド, ピラクロストロビン）	UN proper shipping name:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (BOSCALID, PYRACLOSTROBIN)
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	9, EHSM	Transport hazard class(es):	9, EHSM
容器等級:	III	Packing group:	III
環境有害性:	該当 海洋汚染物質: 該当	Environmental hazards:	yes Marine pollutant: YES
使用者への特別注意事項:	EmS: F-A; S-F	Special precautions for user:	EmS: F-A; S-F

航空輸送 IATA/ICAO		**Air transport** IATA/ICAO	
国連番号もしくはID番号:	UN 3077	UN number or ID number:	UN 3077
品名（国連輸送名）:	環境有害性物質(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)（ボスカリド, ピラクロストロビン）	UN proper shipping name:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (BOSCALID, PYRACLOSTROBIN)
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	9, EHSM	Transport hazard class(es):	9, EHSM
容器等級:	III	Packing group:	III
環境有害性:	該当	Environmental hazards:	yes
使用者への特別注意事項:	知見なし	Special precautions for user:	None known

IMO機器によるバルクの海上輸送

海上のバルク輸送は目的としない。
指針番号: 171

Maritime transport in bulk according to IMO instruments

Maritime transport in bulk is not intended.

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

[追加情報]
下記の規定に基づき、正味5kg以下の入目で適切な容器で出荷される製品に対してnon-DGとして適用される。 :
ADR, RID, ADN: Special Provision 375;
JT/T617.3;
IMDG: 2.10.2.7;
IATA: A197;
TDG: Special Provision 99(2);
49CFR: §171.4 (c) (2).

15. 適用法令

消防法: 非危険物

硫酸ナトリウム
ピラクロストロビン
労働安全衛生法
表示対象物

硫酸ナトリウム
ピラクロストロビン
労働安全衛生法
通知対象物

その他の規則

この農薬を使用する場合、ヒトおよび環境への危険を避けるために、使用説明書に従うこと。
（1999/45/EC、第10条、1.2項。）

16. その他の情報

農薬取締法：登録番号　第２１７９５号
【JIS Z 7252/7253： 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。